

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 がん教育の充実について (20分)</p> <p>政府は、昨年10月24日の閣議で、国の指標となる第3期がん対策推進基本計画(2017～22年度)を了承し、決めました。新たに「がんを知り、がんの克服を目指す」をスローガンに、「予防」「医療の充実」「共生」を3本柱としました。第一の柱の「がん予防」では、禁煙や生活習慣の改善、検診率の向上、発がん因子となるウイルス・細菌の感染症対策などによるリスクの軽減と早期発見を掲げています。</p> <p>また、文部科学省は、2017年度から、がんに対する正確な理解を深め、命の大切さを学ぶ「がん教育」の全国展開をめざした取組を本格化しています。がんは、国民の2人に1人が生涯のうちに患う「国民病」であり、その原因や予防、検診、治療法などの正しい知識を伝えるだけでなく、命についても考えさせることができるのが、がん教育です。がん教育を通して、自分の命を大切にすることを子どもたちは学びます。ただ、がん教育といっても、保健体育の一環として、生活習慣の改善に焦点を当てる学校もあれば、道徳教育として、命や心の問題に重きを置く学校もあります。一定の基準は必要ですが、地域や学校の実情に応じた柔軟な姿勢が大切であります。ある自治体では、がん専門医と医師会、学校、行政関係者らによる「がん教育推進協議会」を設け、連携しております。</p> <p>本市のがん教育の充実を進める必要があると考え、以下質問いたします。</p> <p>(1) 新学習指導要領に対応した取組について (2) 今後の課題とスケジュールについて</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 地域間交流の促進について (20分)</p> <p>彩の市町村愛着連携事業(地域間交流の促進)は、県内の農山村部と都市部の市町村による交流を支援し、交流人口の増加による地域活性化、地元市町村・埼玉県への愛着心や県民意識の醸成を図ることを目的とした事業です。市町村が連携して継続的な交流を行うきっかけを作るための取組に対して県が財政補助を行います。</p> <p>同事業は、2017年度から始まり、2017年度は県内市町村間での取組でしたが、2018年度は県内市町村間に加え、東京23区と県内市町村の間でも交流支援を行います。</p> <p>上田知事は、昨年12月に東京都の特別区長会会長と意見交換し、東京23区と県内市町村との交流促進を確認しました。東京23区の子どもたちが遠足や林間学校、中学校の部活動、スポーツ少年団の合宿などで県内の地域を訪問したり、逆に県内の農家などが23区のイベントで特産品の販売や地域の魅力をPRしたりするなどの交流を想定しています。取組を行う市町村を県がバックアップし、事業費として1組当たり最大90万円を助成するものです。</p> <p>今後の地域間競争に向けて、地域の魅力を発信するための取組が必要と考え、以下質問いたします。</p> <p>(1) 本市の現状について (2) 今後の課題について</p>	市長 教育委員会教育長